

みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄

<市政相談連絡先>

〒370-0041

高崎市東貝沢町2丁目32-6

TEL&FAX 027-363-2733

E-mail: minao.t@jcom.home.ne.jp

6月市議会定例会報告

平成26年第3回市議会定例会は、6月10日から25日までの16日間の会期で開かれました。

本定例会では、請負契約締結について（高崎市新体育館建設工事）、高崎市地域活性化センター設置及び管理に関する条例の制定について、高崎市地区計画区域内建築物の制限に関する条例の一部改正について、平成26年度高崎市一般会計補正予算（第3号）などの議案の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

～平成26年度一般会計補正予算を可決～

歳入歳出予算の総額にそれぞれ17億7827万円を追加し、総額を1605億4817万円としました。7月から受付を始める「臨時福祉給付金給付事業」に1億300万円と「子育て世帯臨時特例給付金給付事業」に4388万円が計上されました。なお、この給付金に係る費用については、国の全額国庫負担により交付されます。

また、下和田町に整備される新体育館建設工事は、一般競争入札により109億800万円で契約締結することを議決しました。国際大会の規格に対応した、アリーナ面積3600㎡、最大収容人数6015人の地上3階地下1階建の体育館は平成28年3月末竣工予定です。体育館の建設に伴い、上信電鉄線路横断歩道橋を建設するための施行協定を締結することも可決しました。

台風8号に対する警戒対応で東部地域に避難所開設！！

各地に大きな被害を残した台風8号ですが、本市では警戒本部を設置し、井野川の水位上昇に備え近隣住民の安全確保のため、高崎商業高校、塚沢小学校、大類小学校などに避難所を開設しました。

この対応体制を受け、早期に区長をはじめとする地域の皆さまのご協力をいただき感謝申し上げます。幸いにも今回は大きな被害はありませんでしたが、「安全は先取りするもの」を忘れず、今後も地域連携が図れるようご理解をお願いいたします。



六月定例会

市政に対する一般質問

一般質問は、四日間にわたり二十三人の議員が行い、高橋みなお議員は二日目に登壇し質問しました。以下、概要を報告します。

第2期中心市街地活性化基本計画について

質問 中心市街地の衰退・空洞化は、全国的に深刻な問題であり、長期的視点に立った地域ビジョンや都市計画が重要である。本市では、第2期中心市街地活性化基本計画が国に認定されたが、前回計画の成果をどのように検証しているのか。

答弁 掲載事業の約9割が進捗したが、賑わいが十分に回復しておらず継続して取り組んでいく。広域からの集客を高め、駅周辺の人の流れを波及させる必要があると考える。

質問 休日の歩行者や自転車通行量は、高崎駅徒歩圏内でも減少が著しいという調査結果が出ているが、具体的な取り組みは。

答弁 増加する交流人口を中心市街地全体に誘引するために、まちなかで寛げる環境づくりと回遊のポテンシャルを向上させたい。

質問 イオンモール高崎駅前(仮称) 出店に

よる効果を期待するが、隣接する個人商店や駅前以外の商店街への影響が懸念される。対応策は検討されているのか。

答弁 広域的な商圏を拡大するチャンスと捉え、個人商店や周辺の商店街に来街者を波及させるといふプラスの効果があると考えている。様々な手法を組み合わせることに相乗効果で幅広い活性化に繋げていきたい。

質問 国では「コンパクトシティー」の実現を目指す改正都市再生特別措置法が成立した。少子高齢化や中心市街地の衰退という状況の中で、医療や福祉、居住に関する施設を誘導し経済効果の高い民間プロジェクトを支援する。全国的に進められようとするコンパクトシティーに対する本市の考え方は。

答弁 優れた都市の拠点性や求心力の高い中心市街地の特性を活かして、集中した都市機能の集積を図り、コンパクトシティーからさらにスマートシティーのまちづくりを目指していく。

本市における水害対策の進捗状況について

質問 情報伝達システム等の改善や安全性の向上を図るため、総合的な防災マップ等で住民に避難体制を周知することが必要と考えるが見解を。

答弁 自主防災組織や町内会組織を中心に避難できる体制が構築できるよう推進を図る。地震や大雪対応を掲載した新たなハザードマップの配布に向けて準備を進めている。

質問 市内全域に多数存在する水門や堰の管理台帳の整理に取り組む体制整備が必要であると思うが。

答弁 現在ある水門台帳は管理者の変更や、不明なものもあるので、被害の原因となるような水門と合わせて再調査し、地域と一体となって浸水被害の軽減を目指したい。

質問 排水抑制対策や上流域での雨水調整池などのインフラ整備の推進が改めて問われているが、今後の計画は。

答弁 整備に関しては様々な課題があるが、県と連携して井野川流域の浸水被害を軽減できるように調整池に対する補助制度の制定を要望している。県河川課でも井野川流域の水位低下を図る治水計画策定に向け検討している。

♪ 後記 ♪

「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に決定した報道は、群馬県民はもちろん日本中を喜ばせてくれました。これまで保存に尽力してこられた企業、行政、ボランティアで支えた皆さまに敬意を表したいと思います。せっかくなので魅力をアイディアをいっしょに考えてみませんか。